

# 各回の講座内容詳細

## Aコース

11/7(土) 13:00~15:00

“社会脳”の進化とその現代での課題  
～ヒトはなぜ“豊かさ”を謳歌できるようになったのだろう～

前いわき明星大学薬学部教授  
東京都医学総合研究所客員研究員 黒見 坦

私達は人の世で生きています。しかし、「煩わしい人間関係が無くなればどんなにすっきりすることだろう」と思ったことはありませんか？それは出来ない相談なのです。なぜなら、ヒトの脳の進化と霊長類の行動の研究から、「この煩わしい人間関係がヒトの脳を進化させ、人が豊かさを謳歌できるようにした」ことが明らかになってきたからです。人間関係を生み出しているヒトの脳構造が“社会脳”であり、その最も重要な機能はお互いの心が読める能力なのです。本講座では、“社会脳”の概略と自閉症や認知症で見られる異常といわれる行動を“社会脳”の観点から、解釈を試みます。なお、本講座は第43回春季公開講座“脳の働きと心を考える”(2009年6月)の後篇です。

## Bコース

11/14(土) 13:00~15:00

職場における学習  
～人は職場において誰から何を学ぶのか～

教養学部准教授 初見 康行  
(経営学)

人生の「豊かさ」を実現するために、職場での学習や学びを充実させることは大変重要です。しかしながら、人は職場において、誰からどのような支援を受け、何を学んでいるのでしょうか？本講座では、「職場における学習」をテーマに、20代の若手社員が職場の人間関係からどのような支援や学びを得ているのかを考えていきます。現在、一生懸命働かされている20代の方、部下のマネジメントに悩む熟年世代の方など、幅広い年齢層の方にご参加頂ければ幸いです。また、本講座はアクティブラーニング形式(双方向型の講義形式)で実施する予定です。いつもとは異なった学び方に興味のある方、参加者同士で話してみたい方など、グループワークを通して、ぜひみなさんにもご参加頂ければ幸いです。職場を通じた人生の「豊かさ」の実現について、一緒に学んでいきましょう。

## Cコース

11/21(土) 13:00~15:00

コンテナはただの「鉄の箱」ではない？

教養学部助教 佐原 太一郎  
(企業の国際化)

社会の国際化が進んできた背景のひとつに、輸送技術の進歩があります。輸送技術の飛躍的な進歩によって、速く遠くまで人やモノを運ぶことが可能となりました。

本講座では、まず、国際的な海上輸送の技術に着目し、なかでも、コンテナが果たしてきた役割と貢献について取り上げます。コンテナの導入は海上輸送のスピードアップと効率化を可能にし、家具や家電製品等、日常必要となる物資の荷動き量を増加させました。

次に、海上輸送に使われているコンテナが、投資の世界でも活躍していることを紹介します。投資対象として機能するコンテナの新たな一面を解説します。

一見すると、コンテナはただの「鉄の箱」です。しかしながら、その「鉄の箱」は実は我々の暮らしの“豊かさ”を下支えされています。コンテナが果たしている重要な役割とその魅力についてお伝えします。